

EMP-ARM9

XSHUT DOWN 無効時の RTC の動作について

初版 2007年6月25日

1. XSHUT DOWN 無効時の RTC の動作について

EMP-ARM9 にて XSHUT DOWN 機能が無効 (JSW3 で設定) の場合、CPU の動作制限により CPU 内蔵 RTC にアクセスできない場合があります。

RTC を使用する場合は XSHUT DOWN 機能を有効にするか、後述のような対策を施してください。

詳細につきましては、アプローズテクノロジー社 AP4010 ハードウェアマニュアル第 2 版 正誤表 b をご覧ください。

AP4010 ハードウェアマニュアル第 2 版 正誤表 b

http://www.applause-tech.com/pdfs/products/ap4010_co2_j.pdf

2. 対策

XSHUT DOWN 機能が無効の場合、RTC にアクセスする前に GPIO などから POWER_SW 端子に Low パルスを加える必要があります。

下図に回路変更例を示します。

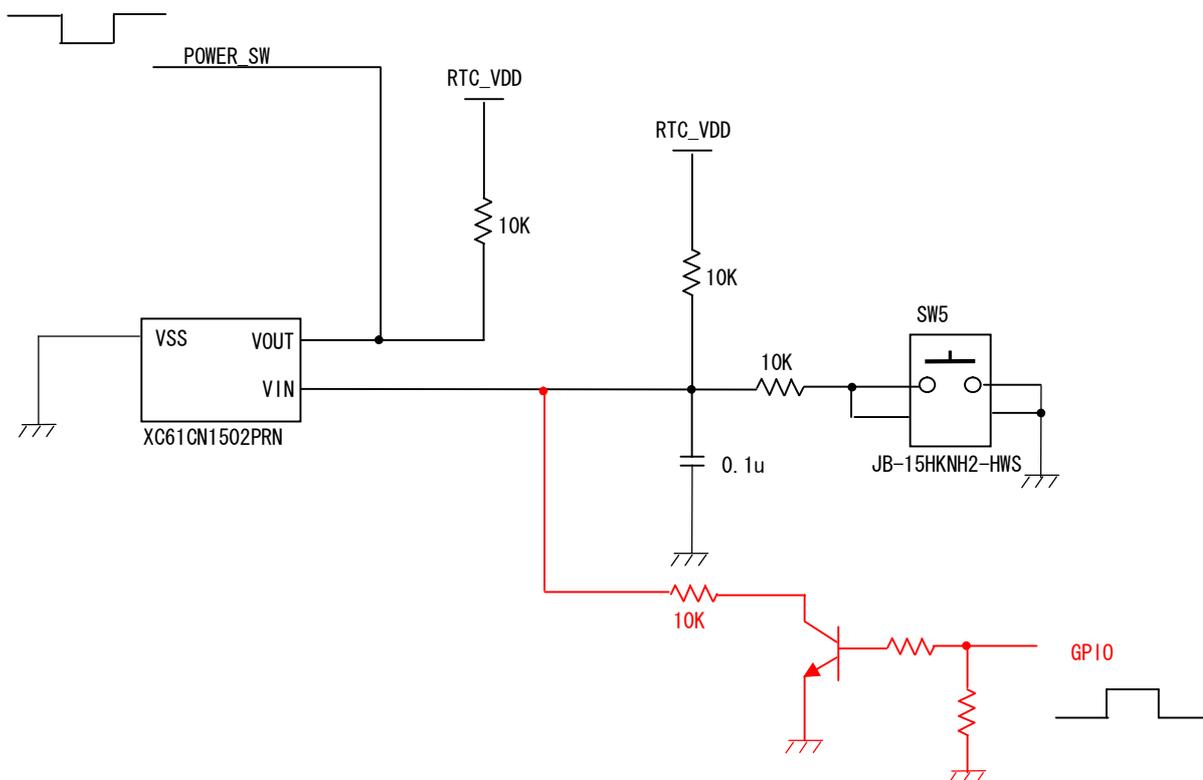


Fig 2.1 POWER_SW 制御回路

GPIO より、パルスを与える場合は「5ms」以上、Low を出力してください。

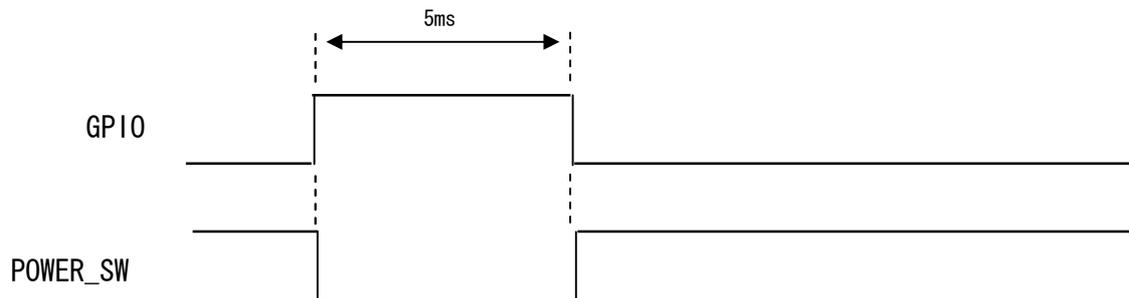


Fig 2.2 POWER_SW タイミング

ご注意

- ・本文書の著作権は（株）アルファプロジェクトが保有します。
- ・本文書の内容を無断で転載することは一切禁止します。
- ・本文書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。
- ・本文書に記載されている内容および回路図についての質問等のサポートは一切受け付けておりませんのでご了承ください。
- ・本文書の内容については、万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点、誤りなどお気づきの点がありましたら弊社までご連絡下さい。
- ・本文書の内容および回路図に基づき、アプリケーションを運用した結果、万一損害が発生しても、弊社では一切責任を負いませんのでご了承下さい。



株式会社アルファプロジェクト
〒431-3114
静岡県浜松市東区積志町 834
<http://www.apnet.co.jp>
E-MAIL : query@apnet.co.jp